

文化に関するアンケート 結果

調査時期:平成23年7月

対象者:県政モニター353人

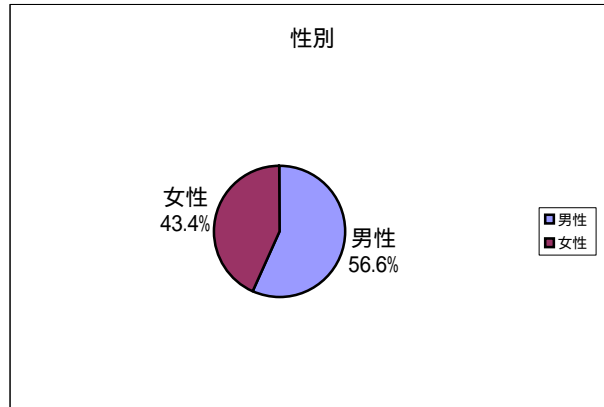
回答数:295人 (回収率 83.6%)

担当課:文化振興課

調査目的:「滋賀県文化振興基本方針」の重点施策の評価等を検証するに当たって、県民の皆さんの文化に関する意向を把握するため。

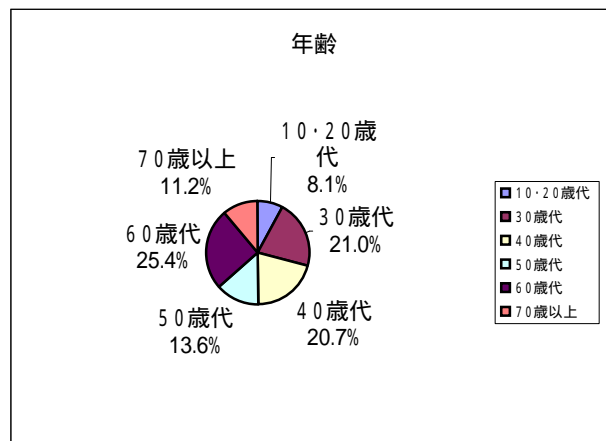
あなたの性別を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
男性	167	56.6
女性	128	43.4
合計	295	100.0



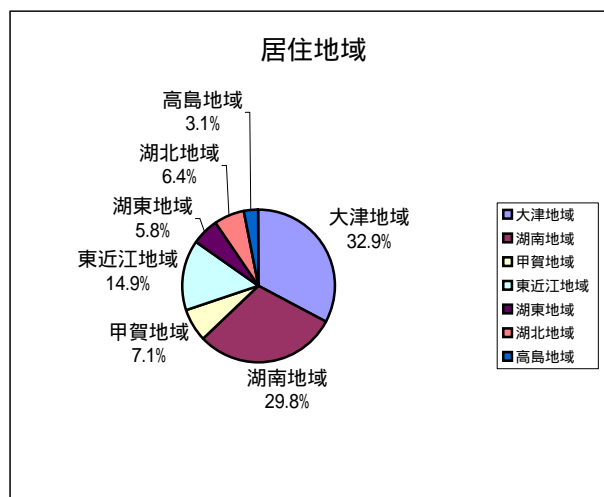
あなたの年齢を教えてください。

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	24	8.1
30歳代	62	21.0
40歳代	61	20.7
50歳代	40	13.6
60歳代	75	25.4
70歳以上	33	11.2
合計	295	100.0



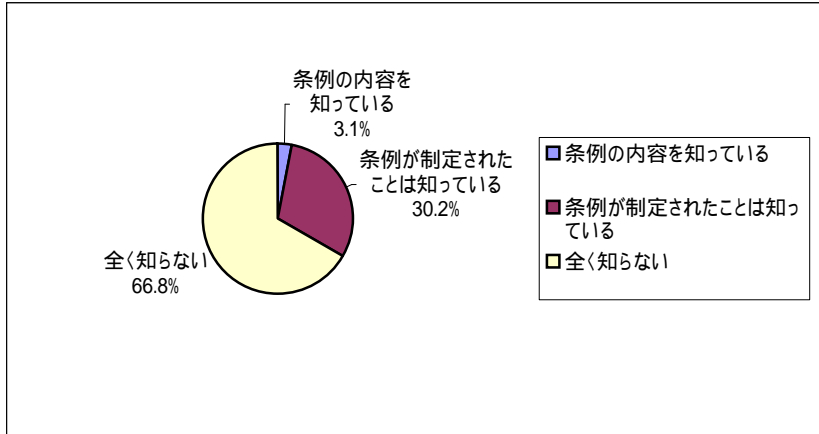
あなたのお住まいの市町名を記入してください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	97	32.9
湖南地域	88	29.8
甲賀地域	21	7.1
東近江地域	44	14.9
湖東地域	17	5.8
湖北地域	19	6.4
高島地域	9	3.1
合計	295	100.0



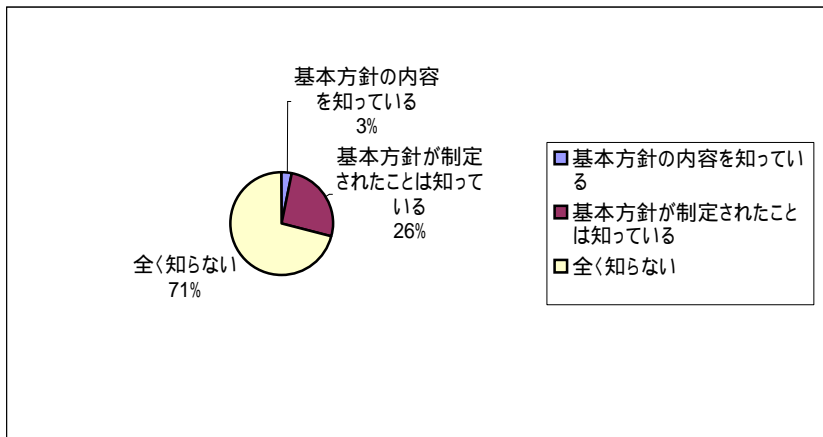
問1 県では、平成21年7月に「滋賀県文化振興条例」を公布・施行しました。この条例について、どの程度知っていますか。
(は1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
条例の内容を知っている	9	3.1
条例が制定されたことは知っている	89	30.2
全く知らない	197	66.8
合計	295	100.0



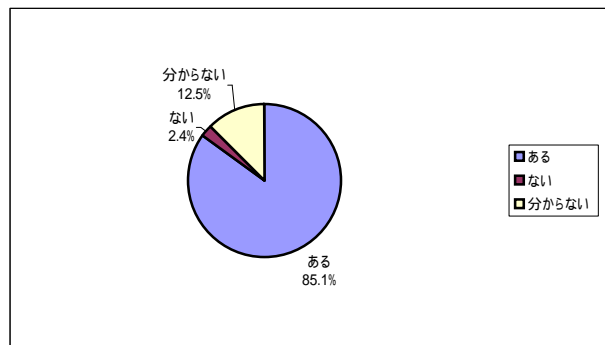
問2 県では、平成23年3月に「滋賀県文化振興基本方針」を策定しました。この基本方針について、どの程度知っていますか。
(は1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
基本方針の内容を知っている	10	3.4
基本方針が制定されたことは知っている	76	25.8
全く知らない	209	70.8
合計	295	100.0



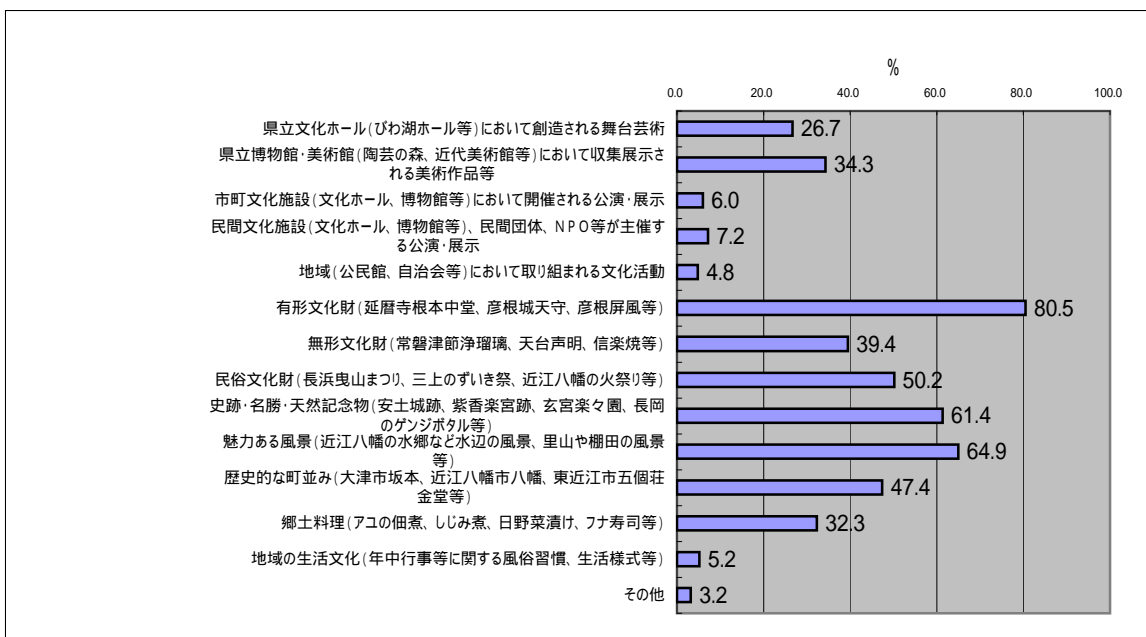
問3 滋賀県には、国内外に誇ることができる文化(多彩な芸術文化、地域において継承されてきた文化的資産・生活文化、魅力ある風景など)があると思いますか。(は1つだけ)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	251	85.1
ない	7	2.4
分からない	37	12.5
合計	295	100.0



問4 国内外に誇ることができると思う滋賀の文化とはどのようなものですか。以下の中から思いつづものを選択し、具体的な名称があれば「具体的な名称」欄に3つ程度記入してください。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
県立文化ホール(びわ湖ホール等)において創造される舞台芸術	67	26.7
県立博物館・美術館(陶芸の森、近代美術館等)において収集展示される美術作品等	86	34.3
市町文化施設(文化ホール、博物館等)において開催される公演・展示	15	6.0
民間文化施設(文化ホール、博物館等)、民間団体、NPO等が主催する公演・展示	18	7.2
地域(公民館、自治会等)において取り組まれる文化活動	12	4.8
有形文化財(延暦寺根本中堂、彦根城天守、彦根屏風等)	202	80.5
無形文化財(常磐津節浄瑠璃、天台声明、信楽焼等)	99	39.4
民俗文化財(長浜曳山まつり、三上のずいき祭、近江八幡の火祭り等)	126	50.2
史跡・名勝・天然記念物(安土城跡、紫香楽宮跡、玄宮楽々園、長岡のゲンジボタル等)	154	61.4
魅力ある風景(近江八幡の水郷など水辺の風景、里山や棚田の風景等)	163	64.9
歴史的な町並み(大津市坂本、近江八幡市八幡、東近江市五個荘金堂等)	119	47.4
郷土料理(アユの佃煮、しじみ煮、日野菜漬け、フナ寿司等)	81	32.3
地域の生活文化(年中行事等に関する風俗習慣、生活様式等)	13	5.2
その他	8	3.2
回答者数	251	

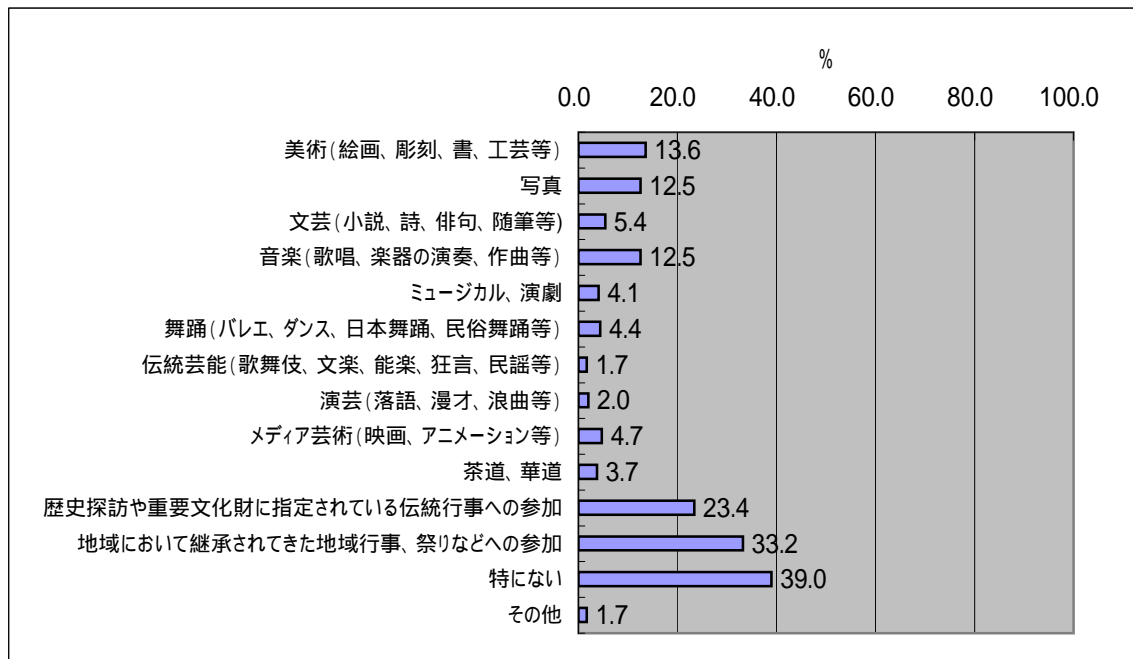


具体的な名称

- ・信楽焼、長浜曳山祭り、江州音頭
- ・琵琶湖の漁(エリ等)、針江の生水・かばた、湖魚料理
- ・比叡山延暦寺、彦根城、安土城跡
- ・びわ湖ホール、三井寺、琵琶湖の風景
- ・瀬田夕照 湖岸よりの風景 彦根城

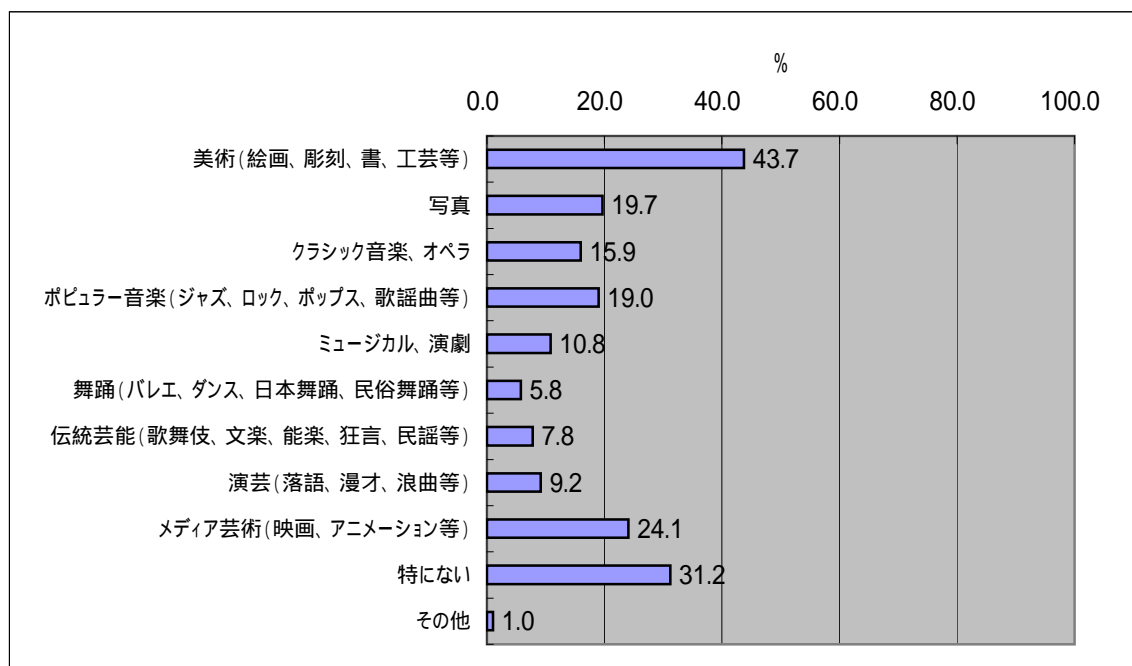
問5 以下の「文化創作活動」のジャンルの中で、この1年間にあなた自身が創作や参加されたものを選んでください。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	40	13.6
写真	37	12.5
文芸(小説、詩、俳句、随筆等)	16	5.4
音楽(歌唱、楽器の演奏、作曲等)	37	12.5
ミュージカル、演劇	12	4.1
舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊等)	13	4.4
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	5	1.7
演芸(落語、漫才、浪曲等)	6	2.0
メディア芸術(映画、アニメーション等)	14	4.7
茶道、華道	11	3.7
歴史探訪や重要文化財に指定されている伝統行事への参加	69	23.4
地域において継承されてきた地域行事、祭りなどへの参加	98	33.2
特になし	115	39.0
その他	5	1.7
回答者数	295	



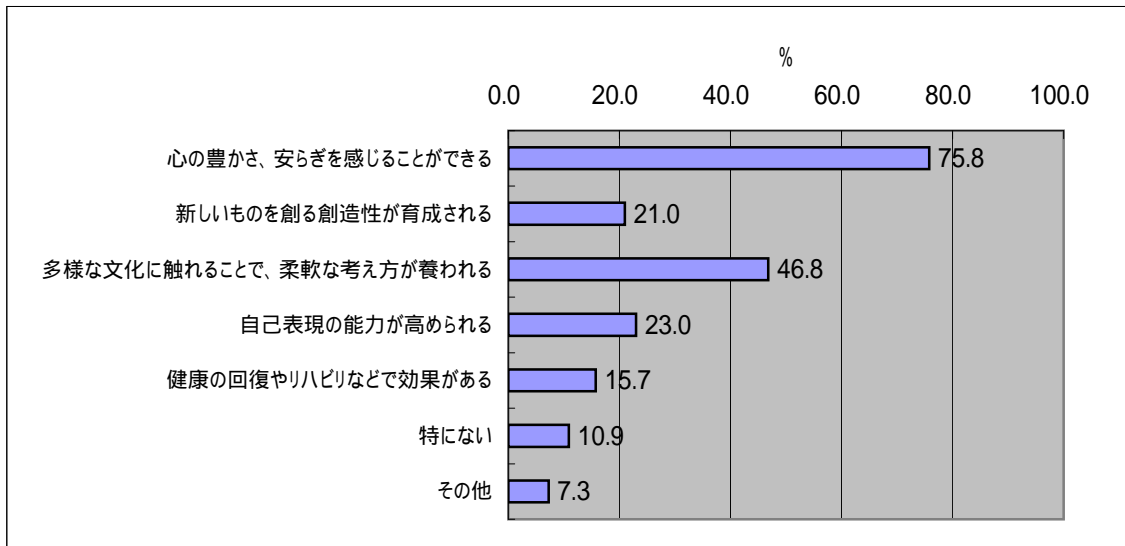
問6 以下の「芸術文化の鑑賞」のジャンルの中で、この1年間にあなた自身が鑑賞されたものを選んでください。ただし、テレビ、ラジオ、レコード、CD、ビデオ、DVDなどによる鑑賞は除きます。(はい/いいえ/どちらでもない/特にない/その他)

項目	人数(人)	割合(%)
美術(絵画、彫刻、書、工芸等)	129	43.7
写真	58	19.7
クラシック音楽、オペラ	47	15.9
ポピュラー音楽(ジャズ、ロック、ポップス、歌謡曲等)	56	19.0
ミュージカル、演劇	32	10.8
舞踊(バレエ、ダンス、日本舞踊、民俗舞踊等)	17	5.8
伝統芸能(歌舞伎、文楽、能楽、狂言、民謡等)	23	7.8
演芸(落語、漫才、浪曲等)	27	9.2
メディア芸術(映画、アニメーション等)	71	24.1
特にない	92	31.2
その他	3	1.0
回答者数	295	



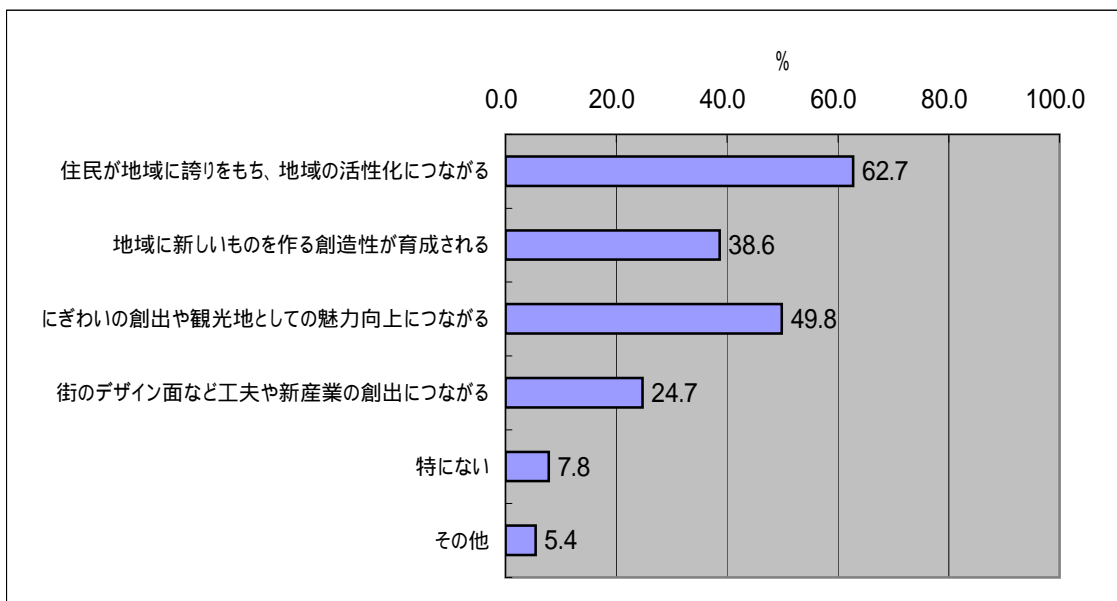
問7 芸術文化を創作したり鑑賞したことによって、あなたの日々の生活にどのような効果や影響があったと思いますか。
(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
心の豊かさ、安らぎを感じることができる	188	75.8
新しいものを創る創造性が育成される	52	21.0
多様な文化に触れることで、柔軟な考え方が養われる	116	46.8
自己表現の能力が高められる	57	23.0
健康の回復やリハビリなどで効果がある	39	15.7
特にない	27	10.9
その他	18	7.3
回答者数	248	



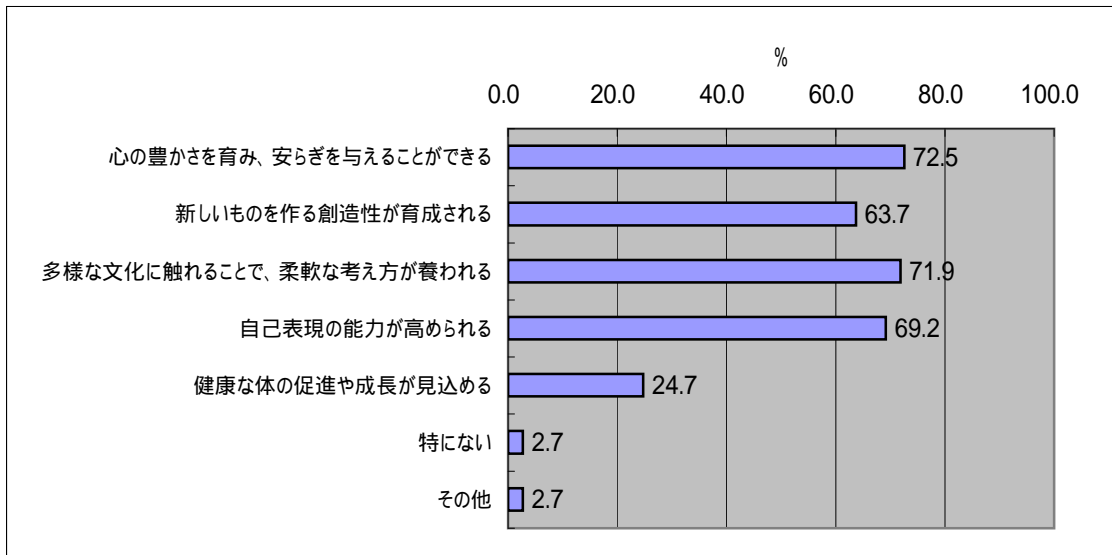
問8 人々が芸術文化を創作したり鑑賞することによって、社会においてどのような意義があると思いますか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
住民が地域に誇りを持ち、地域の活性化につながる	185	62.7
地域に新しいものを作る創造性が育成される	114	38.6
にぎわいの創出や観光地としての魅力向上につながる	147	49.8
街のデザイン面など工夫や新産業の創出につながる	73	24.7
特にない	23	7.8
その他	16	5.4
回答者数	295	



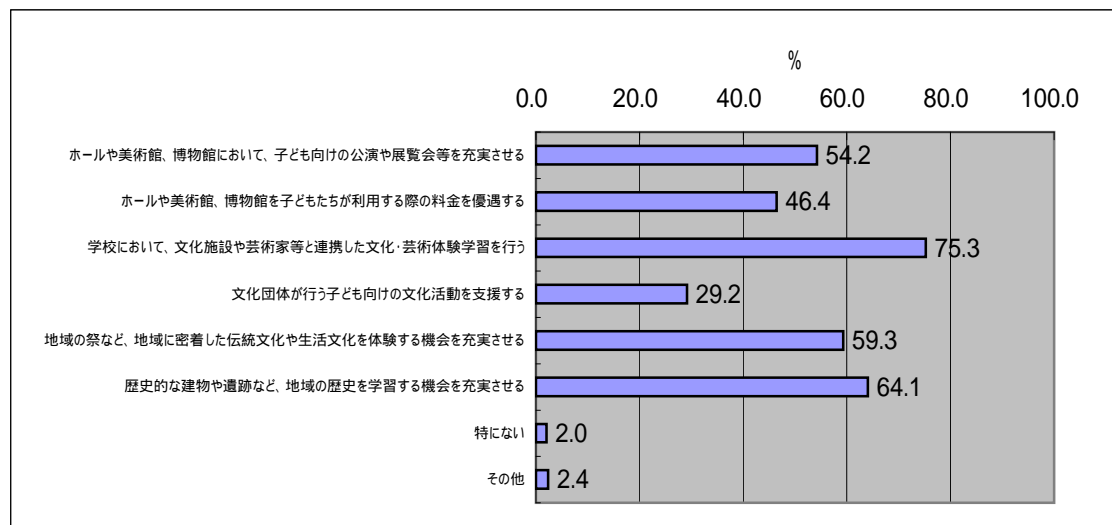
問9 子どもが芸術文化を創作したり鑑賞することによって、子どもの育成にどのような効果や影響があると思いますか。
(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
心の豊かさを育み、安らぎを与えることができる	214	72.5
新しいものを作る創造性が育成される	188	63.7
多様な文化に触れることで、柔軟な考え方が養われる	212	71.9
自己表現の能力が高められる	204	69.2
健康な体の促進や成長が見込める	73	24.7
特になし	8	2.7
その他	8	2.7
回答者数	295	



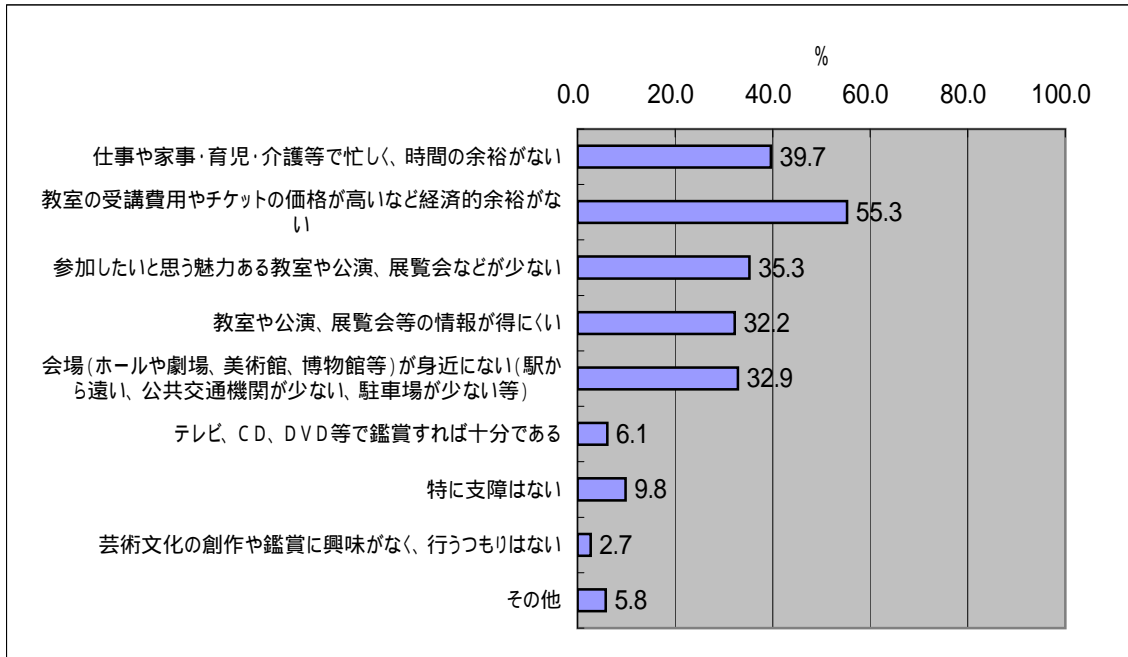
問10 子どもたちが文化芸術に親しむ機会を充実するために、県は今後、何に力を入れたいと思いますか。(はいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
ホールや美術館、博物館において、子ども向けの公演や展覧会等を充実させる	160	54.2
ホールや美術館、博物館を子どもたちが利用する際の料金を優遇する	137	46.4
学校において、文化施設や芸術家等と連携した文化・芸術体験学習を行う	222	75.3
文化団体が行う子ども向けの文化活動を支援する	86	29.2
地域の祭など、地域に密着した伝統文化や生活文化を体験する機会を充実させる	175	59.3
歴史的な建物や遺跡など、地域の歴史を学習する機会を充実させる	189	64.1
特になし	6	2.0
その他	7	2.4
回答者数	295	



問11 あなたが芸術文化を創作したり鑑賞するにあたって、妨げとなる要因は何ですか。(はいいくつでも)

項目	人数(人)	割合(%)
仕事や家事・育児・介護等で忙しく、時間の余裕がない	117	39.7
教室の受講費用やチケットの価格が高いなど経済的余裕がない	163	55.3
参加したいと思う魅力ある教室や公演、展覧会などが少ない	104	35.3
教室や公演、展覧会等の情報が得にくい	95	32.2
会場(ホールや劇場、美術館、博物館等)が身近にない(駅から遠い、公共交通機関が少ない、駐車場が少ない等)	97	32.9
テレビ、CD、DVD等で鑑賞すれば十分である	18	6.1
特に支障はない	29	9.8
芸術文化の創作や鑑賞に興味がなく、行うつもりはない	8	2.7
その他	17	5.8
回答者数	295	



問12 その他、文化振興施策の推進に向けて、ご意見等がございましたらお聞かせください。

- ・自分の意思(興味を持って)で文化に関わりたいと思うのは、どうしてもある程度の年齢が行かないと難しいと思います。そのときは、遅く一生文化的なことに興味を持たないで終わってしまう可能性もあります。それを防ぐ為にも、大事なのは、小中学の子供のときに強制的にでも文化に触れる機会を出来るだけ増やすこと。義務教育のカリキュラムの一貫に組み込むなどが必要だと思います。そういった世代が親になれば、子供にも積極的に文化に関わることを勧めるようになると思います。この繰り返しで、文化は振興されるのではないのでしょうか。
- ・私には、幼児の子供がいますが、音楽のコンサート等は、「未就学児は、入場出来ません」の但し書きが多く、行きたくても行けない場合が多いです。一般的に年齢の低い子供達は、静かに鑑賞したい人達の妨げになる可能性が高いので、そのような措置をとられているのだとは思いますが、幼児の子供がいる間はずっと行けないと思うと残念な気がします。最近では、コンサート会場内に託児施設を設けることもあるようですが、まだまだ少ないのが現状ではないのでしょうか。子供向けのクラシック音楽のコンサートに連れて行ったことがあります。割合、静かに鑑賞していたと思います。このようなコンサートに小さい時から行くことで、音楽に親しむ気持ちももてるようになると思います。子供のいる家庭の大人達が芸術に参加しやすい環境を作って頂きたい事と幼児の頃から芸術に親しめる環境を整えて行って頂ければ有り難いと思います。
- ・うみの湖のようなこぞって子供たちが芸術を鑑賞できる企画が欲しいです。幼少期に生の芸術に触れる機会が多ければ多いほど成長して、その影響があるように思います。マイナスに働くことはなく、プラスに作用すると思います。鑑賞できる子はしばしば鑑賞でき、6年間一度も目にもすることなく、耳にもすることなく過ごす子が多いように思います。貧富の差なく、親の理解度の差がなく、一様に芸術に親しむことの機会が与えられたら、民度の底上げになるように思います。そうして文化振興施策を云々されるなら熱くなった鉄を打つようになるだろうと思います。夢の夢で終わらせもいたくない願いです。
- ・文化に対する考え方は非常に個人差があり、何が正しいか正しくないかという答えを出せるものではないが、私は、人が生きていく上での安らぎや癒し、心の栄養や精神の発揚、そういったものをもたすものすべてが文化だ考えている。文化を享受することは人間に与えられたかけがえのない恵みであり、人間らしく生活するための糧でもある。
- ・滋賀県に住んで5年になります。あちこちの芸術文化の鑑賞に出かけたいのですが、帰りの交通機関がなくなるので昼のものしか出かけられません。交通機関の不十分さがネックになって、県外の友人も誘いたくてもまなりません。
- ・地元や身近にあるところのお祭り、伝承行事、習わしなどを親や地元の先輩が若い世代に引き継いでいくようなことが大事であると考えます。
- ・文化活動の保護・育成は必要とは思いますが、過度な負担にならないように、他の事業と比較して、優先順位付けが必要と思

ます。特に今後は、財政がひっ迫していく時代であり、本当に必要なものを見極めることが重要と思います。

- ・県主導の文化活動については、大津方面中心の印象が強く、湖東や湖北方面には全く恩恵を受けていない印象があります。びわこホールの催物も魅力的なのですが、遠距離なこともあり、あまり利用できていません。
- ・年に数回でもよいので、彦根長浜方面でも びわ湖ホール事業と同等の催し物があるとありがたいです。
- ・料金が高すぎるのが、日本では支障になっていると思います。芸術は普段の生活から生まれるものです。小さい時からよい芸術に親しむには、子どもたちは無料とすべきだと考えます。
- ・人間は芸術や文化に触れることにより心の豊かさや安らぎを感じることができるものだと思います。予算の使い道としてインフラの整備充実などいろいろあると思いますが心豊かな滋賀県民創生のためにも「文化振興条例」の一段と強い発揚をお願いします。
- ・将来に日本を支える子供に対する芸術文化教育は、本当に重要な県だけでなく、国民的課題だと考えます。その意味で、子供達が芸術文化に触れることが出来る環境をもっと充実させる必要があります。子供には、もっと廉価で(出来れば無料で)質の高い文化芸術にどんどん触れることが出来るように、国や県はもっと予算を計上すべきだと思う。また芸術家が、経済的にも、もっと恵まれた環境になるよう国、県は配慮すべきである。日本は、まだまだ芸術家には住みにくい環境だと思われる。
- ・私は「びわ湖検定2級」を取得し、滋賀における歴史、文化、環境などについてある程度の知識は持っており、これを生かして観光ボランティアガイド活動もしております。滋賀の文化振興策の1つとして、例えば「びわ湖検定取得者(2級以上が望ましい)」の方々をもっと活用して、滋賀の持つ歴史、文化などを広く理解してもらう(対象は子供たちや他府県からの来訪者など)施策を県や各地方自治体が取り組むことも望まれます。
- ・「びわ湖検定試験」は発足して4年経過しているようですが年々受験者が減少傾向と聞いております。折角の認定試験であるのに、これを活かす工夫もないのではないかと思います。滋賀の歴史、文化に多少でも詳しい方々を活用する文化振興策の検討が望まれます。
- ・滋賀は魅力的な文化的、芸術的財産があるにもかかわらず、催しやイベントなどの告知が弱いので、どのようなイベントが開かれているのか、日時は？など広く浸透できていないように思います。
- ・広報などで告知するのもいいですが、もっとNHKやびわこ放送などのメディアを有効活用したり、ポスターを人が多集まる場所(スーパーなど)に掲示するなど、行政側の努力も必要なのではないかと思っています。
- ・まずは地域住民へのPRではないでしょうか。自分の地元のことも十分わかっていない人(私も含め)が多すぎると感じます。
- ・あまり文化とか芸術と構えずに気軽に親しみがもてて抵抗なく入っていける庶民的に鑑賞できる地域の常設場がほしい。
- ・滋賀県の、小学校のうみのこ、やまのこの活動が全県できに行われているのを広げ、中学校二年、高校の2年で、県内の博物館、美術館、音楽ホール等へ足を運べるプログラムをつかってはどうでしょうか、また、大学の2年、3年で、県内文化施設へのインターンシップを、学芸員志望や、教職志望の学生だけでなく、大企業・中小企業へのインターンシップに準じて創出してはどうか。プログラムを作る側も勉強になるし、こうした活動を継続実施すれば、これにかかわって、いちどは、優れた文化環境も触れる人口を着実に増やすことができると思います。
- ・それと、芸大卒業生や、専門化志望でプロとして、職業として自立までは、できていないが、専門教育を受け、自身も相当の芸術的スキルを持った人が大勢います、そうした、セミプロの(芸術家の卵や、さなぎに似た人)人々に技能の向上と発表機会、先端で活躍する現役のプロとの交流機会も増やしていけば大きな力になると思います。